

安全への取り組み [安全報告書]



【行動憲章2】 私たちは、お客さまの安全を第一に考えつつ、お客さまの信頼・満足が得られる品質の高いサービスをタイムリーに提供します。

安心して鉄道をご利用いただくために、当社では安全輸送の完遂を経営の基底とし、さまざまな取り組みを行っています。安全統括管理者の下、安全管理の体制を整備し、教育・訓練・技術継承など従業員を対象とした取り組みや、安全を確保するための鉄道施設の整備などを日々行っています。

安全統括管理者ごあいさつ

鉄道の経営に携わる者として、「安全・安心」の輸送を確保することが、何よりも優先されるべきであると考えております。

安全 に対する設備の充実はもちろん、ヒューマン・エラーを防止するためには、現場と経営管理部門との双方向のコミュニケーションが大事であると考え、自ら率先して現場に足を運び、現場の生の声を直接聞いております。風通しの良い職場風土で自由に意見交換できることが、事故の芽を早めにつみ取ることにつながるとの信念を持っております。

今後も「事故のない京阪電車」で、お客さまに安心してご利用頂けるよう、精励いたしてまいります。



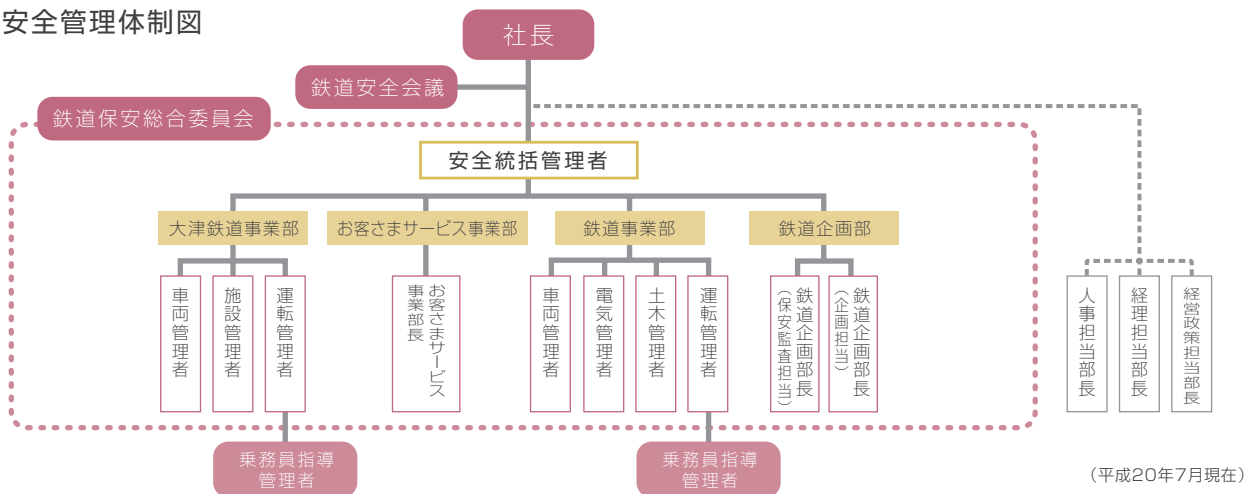
安全統括管理者
取締役専務執行役員
西田 寛

安全基本方針

安全基本方針

1. 安全最優先の原則の下、常に輸送の安全確保に努め、安全適切な処置をとります。
2. 輸送の安全に関する法令および関連する規程類を遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
3. 安全管理体制を適正に運用するとともに、継続的な改善を図ります。

安全管理体制図



(平成20年7月現在)

管理者等の役割

安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する	土木管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する	電気管理者	
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の維持に関する事項を管理する	施設管理者	
		車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する